



清 央 小 だ よ り

令和5年度 第4号
2023. 5. 17

教 育 目 標	「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」 ・自ら学び工夫する子ども (考える) ・元気でがんばる子ども (鍛える) ・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)
---------	---

～お友だちに優しくしてる？嫌がることはしていない？～

「いじめをしない子どもを育てる！」

いじめゼロ強調月間 その②

① 教科担任制の取組

全国的に高学年の教科担任制が進められていますが、本校では研究に取り組み4年目に入ります。毎年明らかになる課題を修正しながら、時間割や授業担当者等を工夫しています。高学年になると、常時5、6名の先生の授業（T.Tを含めるとさらに増えますが）を受けることになります。教材研究が深まり専門的な指導がしやすいことに加え、いろいろな教員が多様な角度から、子どもたちの様子を見ることができるのも、教科担任制の長所のひとつです。

② 年間4回の生活アンケート

本校では年間4回、形式を変えながら生活や友達関係、いじめ等に関するアンケートを行っていますが、その第1回目は「あなたのきもちをおしえてねアンケート」です。その後、個別の教育相談、学年や校内の委員会等を通して、一人一人の困り感を理解し、適切な対応策を講じられるように工夫しています。

③ 教育相談

第1回は6月6日から計画しています。担任がすべての児童と面談を実施します。2校時までB日課、3校時から普通日課とする“2B3A日課”を5日間設定して相談の時間を捻出しています（下校時刻の変更はありません）。また、保健室前にあるポストに、相談内容と相談したい先生の名前を記入して投函する「なんでも相談ポスト」の取組で、日常的に児童の相談に応じることができるように工夫しています。

④ スクールカウンセラーとの連携

スクールカウンセラーが定期的に来校するので、希望に応じて相談することが可能です。相談以外にも、児童の様子を専門的な視点から観察していただくなど、日常的に連携を図っています。

⑤ ドリームタイム（縦割り班活動）

縦割り班での活動を充実させています。異年齢集団での活動は、認め合ったり、折り合いを付けたりする体験が思いやりの心を育みます。「いじめをしない子どもを育てる！」取組として教育活動の中核に位置付け、共遊やもくもく清掃などの活動を行っています。学年に関係なく仲良く交流する姿が、日常的にたくさん見られることは、本校のセールスポイントのひとつ。“子ども同士だから分かり合える”といった体験を積み重ねることで、上級生も下級生も成長していきます。

⑥ 学級自慢週間

それぞれのクラスでは「自分たちのクラスをどんなクラスにしたいのか」を話し合い、お家の方の願い（ご協力ありがとうございました）も盛り込みながら、学級目標を作ります。そして、お昼の放送では、自分たちの目指すクラスを発表する計画です。6月の学校公開の際には、各教室に掲示される予定ですので楽しみにして下さい。



～スクールガード顔合わせ～

清央小では23名のスクールガードの皆さんが、日頃から子どもたちの登下校を見守って下さっています。代表の 様から「LRTも開通します。より一層交通安全に気を付けましょう。」とお話がありました。保護者の皆様も、当番での立哨など、日頃の見守り、ありがとうございます。